

FLIGrab用撮影マクロと設定方法

■FLI_Grab.exe

- ・FLIGrab用の撮影マクロソフト
- ・任意のフォルダに保存してください。
- ・このマクロソフトは、FLIGrab で撮影を行い、自動でファイル保存するマクロプログラムです。

■FLI_Grabの設定.wmv

- ・FLIGrab の初期設定説明用動画です。
- ・FLIGrab を起動します。
- ・Normal で、露出時間を3～10秒、ピニングを2程度に設定します。
- ・必要に応じて、フォーカス画面をフレーミングする場合は、ここで設定します。
- ・Grabボタンで、1カット撮影します。
- ・Save As...によって、フォーカス用画像の保存フォルダに適当な名前で作成します。
(この操作の目的は、保存フォルダを指定する意味があります。)
(この操作は、1回行えば次回からは不要です。)

■Focus Infinity.wmv (β-SGRも同様)

- ・FocusInfinityの撮影アドインの設定を行います。
- ・FocusInfinityを起動し、撮影アドインを開き、OUTproces.dllを設定します。
- ・OUTproces.dll のsetupを開き、先ほど保存したFLI_Grab.exeを設定します。
- ・OUTproces.dll のsetupのTESTボタンで、FLIGrabに連携することを確認します。
- ・FocusInfinity のフォーカスに必要なウインドウを開き、適当にレイアウトします。

■FocusInfinityの動作1.wmv (β-SGRも同様)

- ・初回のフォーカス動作です。
- ・自動操作の撮影ボタンによって撮影アドインが起動し、FLIGrabによる撮影が行われます。
- ・FocusInfinity で撮影ファイルを開き、フォーカスするサンプル星を指定します。
- ・ルーペによって2重星等ではないことを確認し、キャプチャーを起動します。
(この操作は必要に応じて行ってください。慣れてくれば不要です。)
- ・サンプル開始によって、フォーカスサンプリングを開始します。
- ・Uカーブの中央(フォーカス位置)が計算されるはずですが。

■FocusInfinityの動作2.wmv (β-SGRも同様)

- ・再度フォーカスを行う操作です。
- ・キャプチャー状態を解除します。
- ・先ほどのフォーカス用画像が不要な場合は、「ファイル」→「フォルダを空にする」によって削除する事が出来ます。
- ・後は前回と同様に撮影ボタンにてサンプルカットを行い、フォーカスサンプリングを行います。